



# 安全装備

車を運転するうえで乗員の安全を保護するための  
装備について説明しています。

## ■ シート

正しい運転姿勢-----	38
フロント シート-----	39
リヤ シート-----	41
ソフト フラット シート-----	46
ISO FIX対応ISO FIX固定バー& テザー アンカー-----	47

## ■ ABS

ABS (EBD&ブレーキ アシスト付)-----	64
------------------------------	----

## ■ シート ベルト

正しい着用-----	50
3点式ELRシート ベルト-----	53
プリテンショナー&可変ロード リミッター機構付 シート ベルト---	54
シート ベルトによる チャイルド シートの取り付け-----	55

## ■ SRSエアバッグ

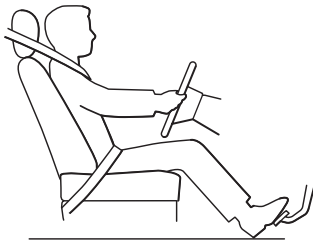
SRSエアバッグ-----	57
SRSエアバッグ警告灯-----	63
SRSエアバッグ コンピューター---	63

# シート

## 正しい運転姿勢

安全な運転操作を行うため、正しい運転姿勢が取れるように、下記のことにご注意してシートを調整してください。

- ペダル類が十分に踏み込めること
- 背もたれから背中を離すことなく、ハンドル操作ができること
- シートベルトが正しく着用できること
- ヘッドレスト中央の高さが耳の後方になること



## ⚠警告

- 走行中は運転席シートの調整を絶対に行わないでください。シートが突然動き、運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを必要以上に倒して走行しないでください。シートベルトの性能が発揮されません。正しい運転姿勢を取りましょう。
- 背もたれと背中の上にクッションなどを入れないでください。正しい姿勢が取れないばかりか、衝突したときシートベルトなどの拘束保護装置の効果十分に発揮されず重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

(シートベルト→ 50 ページ)

## ⚠注意

- シートを調整するときは同乗者や荷物に当たらないように注意してください。同乗者がけがをしたり、荷物をこわしたりするおそれがあります。
- シートの調整は、指や手を挟まないように十分に注意して行ってください。
- シートを調整しているときは、シートの下や動いている部分に手を近付けないでください。指や手を挟みけがをするおそれがあります。



## フロント シート

### シート スライド調整

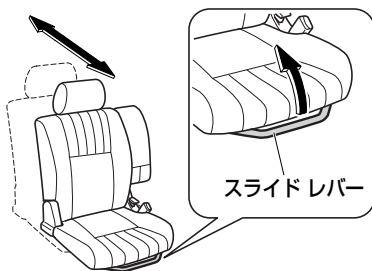
▼調整を行う前に

#### ⚠警告

- スライド調整は必ず運転前に行い、調整後はシートを前後に軽くゆすり、シートが確実に固定されたことを確認してください。シートが固定されていないとシートが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

▼調整方法

シート下のスライド レバーを引き上げながら、前後にシートをスライドします。



## リクライニング調整

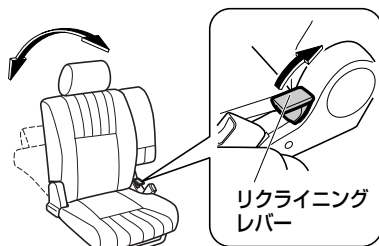
▼調整を行う前に

#### ⚠警告

- リクライニング調整は必ず運転前に行い、調整後は背もたれを軽くゆすり、背もたれが確実に固定されたことを確認してください。背もたれが固定されていないと走行中に背もたれが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

▼調整方法

リクライニング レバーを引き上げながら背もたれの角度を調整します。



#### ⚠注意

- リクライニング レバーを引き上げるときは背もたれにあまり力をかけないでください。背もたれに強い力がかかっていると急に背もたれが倒れ、けがをしますおそれがあります。

▼背もたれを元に戻すときは

#### ⚠注意

- 背もたれが急に戻るおそれがありますので、必ず背もたれを手で押さえながら操作してください。





## ヘッドレストの調整

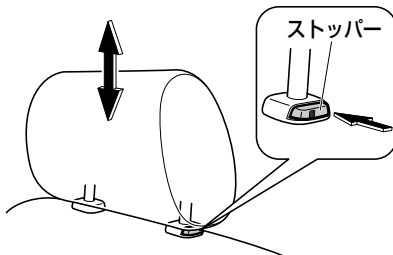
▼調整を行う前に

### ⚠警告

- ヘッドレストを外した状態で走行しないでください。衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。走行前に必ず取り付け、ヘッドレスト中央が耳の後方になるように高さを調整してください。
- ヘッドレストを前後逆に取り付けしないでください。いざというとき、効果を発揮しません。

▼調整方法

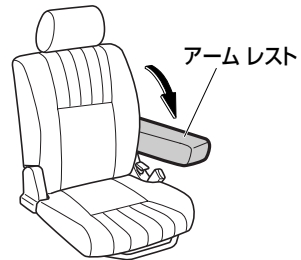
そのまま持ち上げて調整します。下げるときはストッパーを押しながら「カチッ」という音がする位置で固定してください。取り外すときはストッパーを押しながら引き抜きます。



## アームレスト

▼使用方法

前に倒して使用します。



### 👉アドバイス

- シートのリクライニング調整やスライド調整を行うと、アームレストも同時に動きます。



## リヤ シート

### ⚠注意

- 荷室には人を乗せないでください。人が乗る構造になっていないため、急ブレーキ時などに思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 荷物はフロント シートの背もたれより高く積まないでください。後方視界のさまたげになるだけでなく、急ブレーキ時などに前方に荷物が投げ出されるおそれがあります。

## シート スライド調整

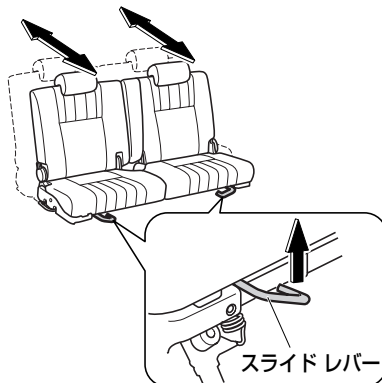
▼調整を行う前に

### ⚠注意

- スライド調整は必ず停車中に行い、調整後はシートを前後に軽くゆすり、シートが確実に固定されたことを確認してください。シートが固定されていないと走行中にシートが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

▼調整方法

シート下のスライド レバーを引き上げながら、前後にシートをスライドします。



### 👉アドバイス

- 左右独立してスライド調整することができます。



## リクライニング調整

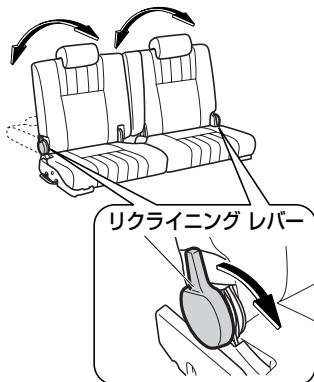
▼調整を行う前に

### ⚠注意

- リクライニング調整は必ず停車中に行い、調整後は背もたれを軽くゆすり、背もたれが確実に固定されたことを確認してください。背もたれが固定されていないと走行中に背もたれが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

▼調整方法

リクライニング レバーを引きながら背もたれの角度を調整します。



### ⚠注意

- リクライニング調整するときは、背もたれにあまり力をかけないでください。背もたれに強い力がかかっていると急に背もたれが倒れ、けがをするおそれがあります。

### アドバイス

- 左右独立してリクライニング調整することができます。

▼背もたれを元に戻すときは

### ⚠注意

- 背もたれが急に戻るおそれがありますので、必ず背もたれを手で押さえながら操作してください。



## ヘッドレストの取り外し

▼操作を行う前に

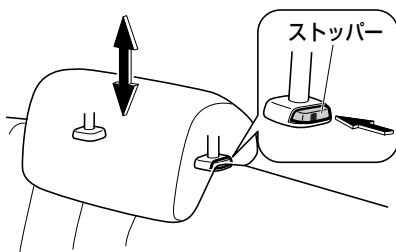
### ⚠警告

- リヤシートに人を乗せるときは、ヘッドレストを外したまま、または下げた状態のまま走行しないでください。衝突時などに、首に大きな衝撃が加わり、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。ヘッドレストは必ず上げた状態で使用してください。
- ヘッドレストを前後逆に取り付けないでください。いざというとき、効果を発揮しません。

▼操作方法

取り外すときは、ストッパーを押しながら引き抜きます。

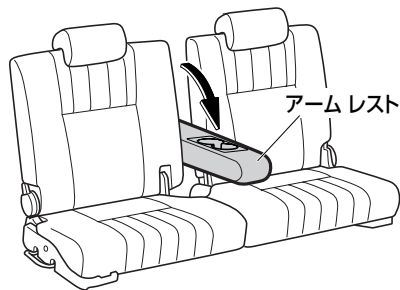
取り付けるときは、「カチッ」という音がする位置で固定してください。



## アームレスト

▼使用方法

前に倒して使用します。



### 👉アドバイス

- シートのリクライニング調整やスライド調整を行うと、アームレストも同時に動きます。



## リヤ シートを格納するとき

▼操作を行う前に

### 警告

- 走行中はシートの操作を行わないでください。ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

### 注意

- リヤ シートを格納および元に戻すときは、格納位置に人がいないことや、壊れやすい物がないことを確認してください。
- 操作するときは、手などを挟まないように注意してください。
- リヤ シートを格納した状態で、荷室に人を乗せて走行しないでください。急ブレーキ時など体が固定されず危険です。
- 格納および元に戻す場合は、必ず格納レバーを持って操作してください。

### アドバイス

- リヤ シートは左右独立して格納することができます。

▼操作方法

1. リヤ シートを後方いっぱいまでスライドさせます。

### アドバイス

- リヤ シートはシートを後方いっぱいまでスライドさせないと、格納レバーでロックを解除できない構造になっています。
2. リヤ シート ヘッド レストを最下段にします。
  3. リクライニング レバーを引き、リヤ シートの背もたれを前に倒します。

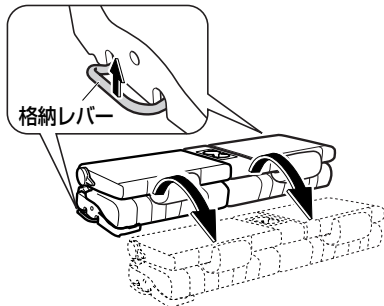




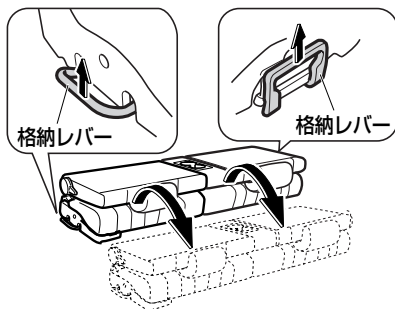


4. 格納レバーを引き上げて、ロックを解除し、さらにレバーを引き上げながら、リヤシートを持ち上げ、車両前方に格納させます。

パワー スライド ドア装着車以外

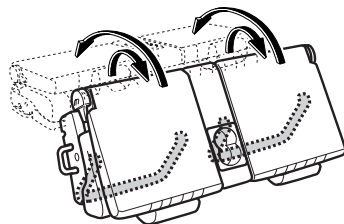


パワー スライド ドア装着車



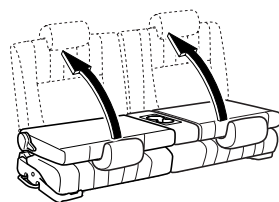
▼元に戻すときは

1. シートをいったん上に引き上げたあと、後方に回転移動させ真上からロックします。



⚠注意

- シートを元に戻すときは、確実にシートをロックさせてください。シートが固定されていないと走行中にシートが動き、思わぬけがをするおそれがあります。
2. 背もたれを「カチッ」と音がするまで起こします。



⚠注意

- リヤシートの背もたれを起こしたあとは、背もたれが確実に固定されていることを確認してください。背もたれが固定されていないと、走行中に背もたれが動き思わぬけがをするおそれがあります。



## ソフト フラット シート

### フル フラットにするとき

▼操作を行う前に

#### 警告

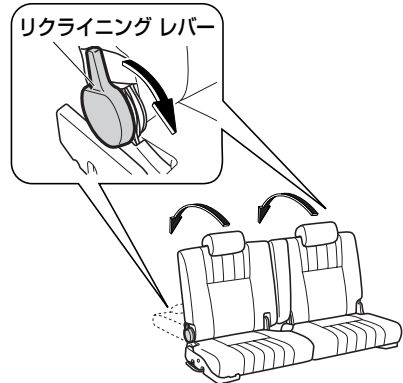
- 走行中はシートの操作を行わないでください。ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

#### 注意

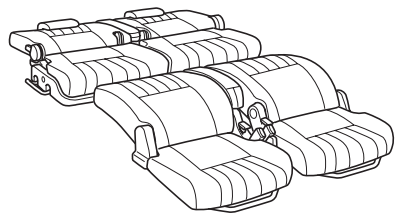
- フル フラットにした状態で人を乗せたまま走行しないでください。急ブレーキ時など体が固定されず危険です。
- フル フラットにした状態で、シートの上を動き回ったりしないでください。
- シートの上を移動するときは、足を踏み外すおそれがあり危険です。シートの中央を踏んでゆっくり移動してください。
- フル フラット状態は安全な場所に車を止めて休息するときに使用してください。

▼操作方法

1. リクライニング レバーを引き、リヤシートの背もたれを床と水平になるまで倒します。



2. フロント シートのヘッド レストを外します。
3. フロント シートを前方へスライドさせます。
4. フロント シートの背もたれをリヤシートと面一になるまで倒します。



▼元に戻すときは

逆の手順で操作してください。



## ISO\* FIX対応 ISO FIX固定バー & テザー アンカー

リヤシート左右席には、ISO FIX対応ISO FIX固定バー&テザー アンカー対応のチャイルドシートを取り付けるためのISO FIX対応ISO FIX固定バー&テザー アンカーが装備されています。

このISO FIX対応ISO FIX固定バー&テザー アンカーには、この車専用の道路運送車両の保安基準に適合するチャイルドシート（ISO FIX対応ISO FIX固定バー&テザー アンカー対応のスバル純正チャイルドシート）のみ取り付けることができます。詳しくはスバル販売店にご相談ください。

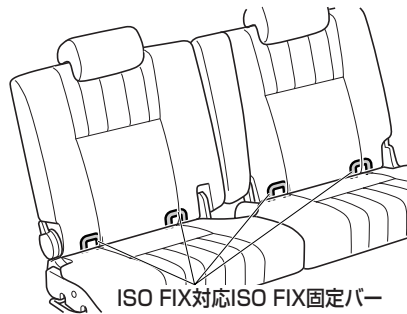
### 👉 アドバイス

- シートベルトで固定するタイプのチャイルドシートの取り付け方法とは異なります。

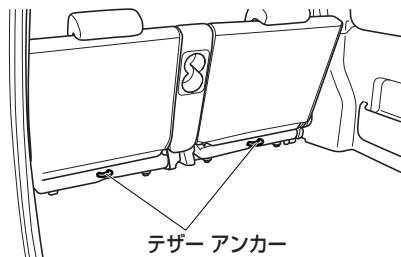
（シートベルトによるチャイルドシートの取り付け→ 55 ページ）

### ▼ 取り付け方法

1. ISO FIX対応ISO FIX固定バー&テザー アンカーの位置を確認します。



ISO FIX対応ISO FIX固定バー



テザー アンカー

2. 適合するチャイルドシートの取り付け金具をISO FIX対応ISO FIX固定バー&テザー アンカーに連結して取り付けます。（取り付け方法は、商品に付属の取扱説明書をよく読んでください。）
3. 取り付けたチャイルドシートを軽くゆすり、確実に取り付けられていることを確認します。

\* International Organization for  
Standardization（国際標準化機構）の略

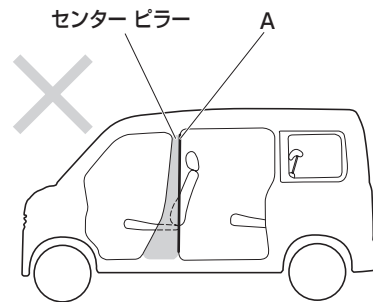
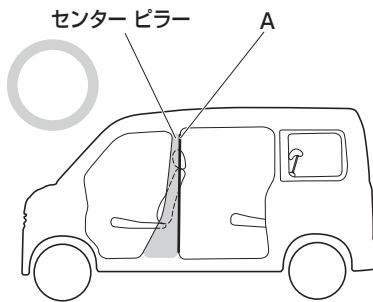


## チャイルド シート取り付け時の シート位置

この取り扱い要領はこの車専用です。  
ほかの車種には適用されません。

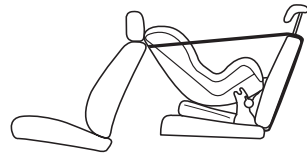
▼チャイルド シートを前向きに取り付ける  
場合

1. リヤ シートを一番後ろの位置にします。
2. リヤ シートのヘッド レストを最上段にします。
3. フロント シートのヘッド レスト前  
端がセンター ピラー後ろ側 (A部)  
より前になるようにフロント シート  
の前後位置・リクライニング位置を  
調整します。



▼チャイルド シートを後ろ向きに取り付ける  
場合

チャイルド シートを取り付けたあと、チャイルド シート前部とフロント シートのヘッド レストが接するように、フロント シートの前後位置・リクライニング位置およびリヤ シートの前後位置を調整してください。

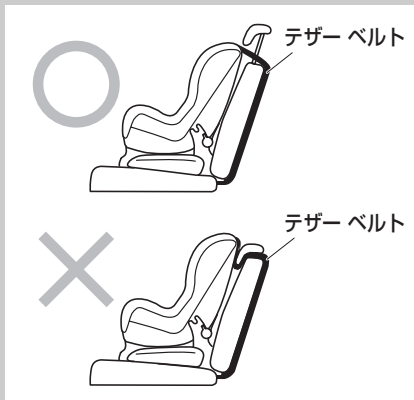


### ⚠警告

- シート位置の決定後は、シートを動かさないでください。衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 取り付け、取り外し要領は、チャイルド シートに付属の取扱説明書をよく読んで、確実に取り付けてください。
- チャイルド シートを取り付けるときは、ISO FIX対応ISO FIX固定バー&テザー アンカー周辺に異物がないこと、シート ベルトなどのかみ込みがないことを確認してください。異物やシート ベルトなどのかみ込むとチャイルド シートが固定されず、衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

## ⚠警告

- チャイルド シートを取り付けるときは、リヤ シートのヘッド レストを最上段にしてから、テザー アンカーに固定してください。  
ヘッド レストを下げたままだと、テザー ベルトがヘッド レストに当たってたるみ、衝突したときなどにチャイルド シートが動いて重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



- チャイルド シートを取り外したまま室内に放置すると、ブレーキをかけたときなどに人や物に当たるなどして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

## 📖アドバイス

- 正しい運転姿勢を確保するため、運転席シートの後端がセンター ピラー後側（前図A部）より後ろになる場合は、運転席シート後方にISO FIX対応チャイルド シートを取り付けることができません。助手席シート後方に取り付けてください。  
(正しい運転姿勢→ 38 ページ)
- チャイルド シートを長時間使用しない場合は、ラゲージ ルームに収納するか、車両から外して保管してください。シートに取り付けたままにしておくと、シートが変色したり、型くずれするおそれがあります。

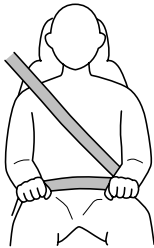


# シートベルト

## 正しい着用

運転者は車を運転する前に、下記のこと  
に注意してシートベルトを着用し、必ず  
同乗者にも着用させてください。シート  
ベルトは正しく着用しないと効果が半減  
したり、危険な場合があります。

シートベルトの使用方法を十分に理解し、  
正しい取り扱い方を身に付けてくださ  
い。



- シートを調整し、上体を起こし深く腰かけて座ること
- シートベルトにねじれがないこと
- シートベルトが肩に十分かかっていること、また必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させること

## 警告

- シートベルトの着用は腹部をさけ、必ず腰骨の位置にしてください。衝突したときなどに腹部に強い圧迫を受け、シートベルトによりけがをするおそれがあります。
- シートベルトの肩にかかる部分を脇の下に通して着用しないでください。シートベルトが肩に十分かかっていないと衝突したときなどに体が前方に投げ出されるおそれがあります。
- シートベルトの経路をさまたげる荷物の積みかたはしないでください。衝突したときなどに効果が十分発揮されません。

正常な経路

異常



- 1人で座ることのできない乳幼児の場合はスバル純正のチャイルドシート（ベビーシート）（別売）を使用してください。大人がシートベルトをしてから抱くことは絶対にしないでください。衝突時などインストルメントパネルやフロントシートの背もたれとの間に押しつぶされるおそれがあります。

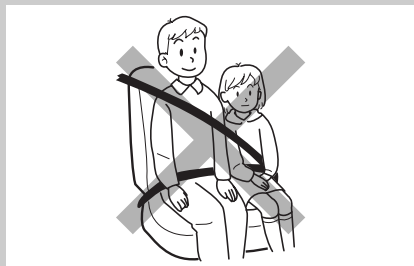


### ⚠警告

- お子さまもシートベルトを着用させてください。ただし、シートベルトが首やあごに当たる場合や腰骨にかからないような体の小さなお子さまの場合は、衝突したときなど強い圧迫を受け、シートベルトによりけがをすることがあります。  
スバル純正のチャイルドシート（別売）を使用してください。
- 妊娠中の方もシートベルトを着用してください。ただし、万一のとき腹部などに強い圧迫を受けるおそれがありますので、シートベルトの着用については、医師に相談のうえ、注意事項を確認してください。
- 腰ベルトは、必ず腰骨のできるだけ低い位置、お腹の膨らみの下に密着させて着用してください。腰ベルトが腰骨からずれていると、衝突したときなどに腹部に強い圧迫を受け、けがをすることがあります。
- 肩ベルトは、お腹の膨らみをさけ必ず胸部に着用してください。肩ベルトを腹部にかけていると衝突したときなどに、腹部に強い圧迫を受け、けがをすることがあります。

### ⚠警告

- シートベルトは1人用です。2人以上で1本のシートベルトを使用しないでください。衝突時にシートベルトが正常に動かず、けがをすることがあります。



- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。衝突時に体がシートベルトの下にもぐり、ベルトが腰骨にかからず腹部にかかることになり、シートベルトによりけがをすることがあります。
- ハンドルやメーターに必要以上に近付いて運転しないでください。衝突したときなどシートベルトの効果が発揮されません。
- シートベルト使用時、洗濯ばさみやクリップなどでたるみをつけないでください。衝突時など効果を発揮しなくなります。





## ⚠警告

- シートベルトが汚れた場合は中性洗剤を使用してください。ベンジンなどの有機溶剤を使用すると、シートベルトの性能が落ち、十分な効果を発揮できません。同様にシートベルトの脱色や染色もやめてください。
- シートベルトを着用した状態で万一事故にあった場合は、スバル販売店でシートベルト一式を交換してください。シートベルト自体が損傷している場合があります、性能を十分発揮できないおそれがあります。
- 常にシートベルトにほつれや、擦り切れなどの異常がないかを点検してください。異常がある状態で使用すると衝突時に正常にはたらかず、性能を十分発揮できないおそれがありますので、スバル販売店で交換してください。
- バックルや巻き取り装置の内部に異物などを入れないようにしてください。また、シートベルトの改造や取り付け、取り外しをしないでください。衝突時に十分な効果を発揮できないおそれがあります。







### 3点式ELRシートベルト

長さ調整の必要はありません。通常は体の動きに合わせて伸縮しますが、緊急時にはロックし、体を固定します。

#### ▼着用するとき

1. 正しい運転姿勢が取れる位置にシートベルトを調整します。
2. プレートをつかんでゆっくり引き出し、ベルトがねじれていないことを確認したのち、バックルの中にプレートを「カチッ」と音がするまで差し込みます。



#### ⚠警告

- 3点式ELRシートベルトは、脇の下に通して着用しないでください。ベルトが十分肩にかかっていないと十分な効果を発揮しません。

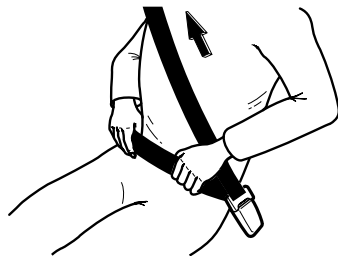
#### ⚠注意

- プレートを差し込むとき、プレートでバックルを無理にこじらないでください。

### 🗨️ アドバイス

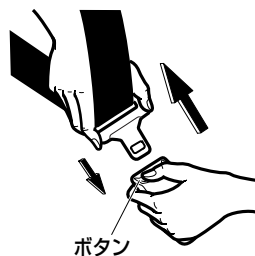
- ベルトがロックし引き出せない場合は、ベルトをゆるめてからゆっくり引き出してください。それでも引き出せない場合は、一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ、もう一度ゆっくり引き出してください。
- 運転席シートベルトは、シートベルトを着用していない状態（警告灯が点滅状態）で、約 20km/h以上で走行すると、ブザーが約 2 分間鳴ります。  
(シートベルト警告灯 → 115 ページ)

3. 腰部ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にかかるとし、肩部ベルトを引いて腰部に密着させます。



#### ▼外すとき

バックルのボタンを押します。ベルトは自動的に収納されますので、ねじれや引っかかりなどがなければ確認します。





## プリテンショナー& 可変ロード リミッター機構付 シート ベルト

### フロント シート

#### ⚠警告

- プリテンショナー&可変ロード リミッター機構付シート ベルトは絶対に取り外さないでください。また、分解、改造もしないでください。
- 下記のような場合は必ずスバル販売店にご相談ください。お客様自身で行うと、プリテンショナー機構が思いがけなく作動するおそれがあるほか、故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - 車両前部を修理するとき
  - 無線機を取り付けるとき
  - 廃車にするとき

## プリテンショナー機構

前方からの強い衝撃を受けるとプリテンショナー機構が作動し、シート ベルトを瞬時に引き込み、上体をシートにしっかりと固定してシート ベルトやSRSエアバッグの効果をいっそう高めます。

#### ⚠注意

- プリテンショナー機構付シート ベルトは一度作動すると再使用できません。最寄りのスバル販売店で交換してください。

#### 👉アドバイス

- プリテンショナー機構はシート ベルトを着用していなくても前方からの強い衝撃を受けると作動します。

## 可変ロード リミッター機構

前方からの強い衝撃を受けた場合、シート ベルトにある一定以上の荷重がかかったときに作動し、それ以上荷重がかからないようにする機構で、乗員の胸に加わる力を減少させます。

#### ⚠注意

- 可変ロード リミッター機構付シート ベルトは一度作動すると再使用できません。最寄りのスバル販売店で交換してください。



## シートベルトによる チャイルドシートの取り付け

▼チャイルドシートを取り付ける前に

### ⚠警告

- チャイルドシートは様々なタイプの物があります。取り付け要領はタイプにより異なりますので、必ず十分に確認したうえで取り付けを行ってください。万一のとき効果を発揮しないおそれがあります。
- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。万一シートベルトが首に巻き付いた場合、窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。誤ってそのような状態になってしまい、シートベルトのバックルも外せない場合は、はさみなどでシートベルトを切断してください。

### ⚠注意

- 標準装備のシートベルトは大人用です。肩ベルトに首がかかるような小さなお子さまにはシートベルトの着用はさけ、スバル純正のお子さま専用シートの使用をおすすめします。取り付けはお子さま専用シートに付属の取扱説明書をよく読んで、確実に取り付けてください。
- シートベルトに損傷をあたえないよう、取り付けにあたっては十分注意してください。

### 👉アドバイス

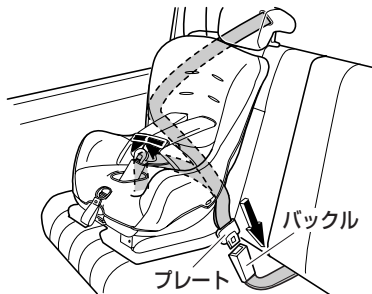
- 満6歳未満のお子さまは、お子さま専用シート（チャイルドシート）の着用が法律で義務付けられています。





▼チャイルドシート\*の取り付けかた

1. チャイルドシートをリヤシートに置きます。
2. プレートをつかんでゆっくり引き出し、ベルトがねじれていないことを確認してから、チャイルドシートの中に通します。



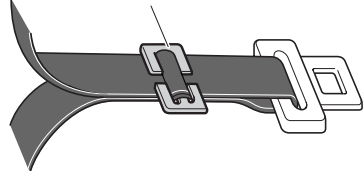
3. バックルの中にプレートを「カチッ」と音がするまで差し込みます。

**△注意**

- プレートを差し込むとき、プレートでバックルを無理にこじらないでください。

4. チャイルドシートにシートベルトの固定装置が付いていない場合は、ロッキングクリップを使用して固定します。

ロッキングクリップ



**📖アドバイス**

- ロッキングクリップの取り付けは、お子さま専用シートに付属の取扱説明書をよく読んで、確実に取り付けてください。  
また、ロッキングクリップの購入については、スバル販売店にご相談ください。

5. チャイルドシートを軽くゆすり、確実に固定されていることを確認してください。

**△注意**

- チャイルドシートを固定したあと、シートベルトでチャイルドシートがロックされていることを必ず確認してください。万一のとき効果を発揮しないおそれがあります。

\* イラストは説明のための物であり、実際のチャイルドシートの形状とは異なります。



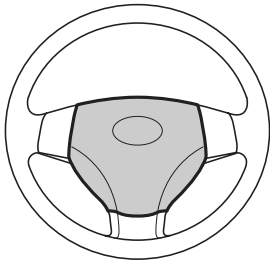
# SRSエアバッグ

## SRS\*エアバッグ

SRSエアバッグは、車両前方からの強い衝撃により、センサーが一定以上の衝撃（重大な危害がおよぶような強い衝撃）を感知すると瞬時に膨らみます。

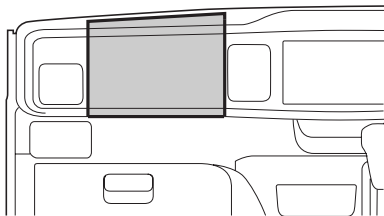
### 運転席SRSエアバッグ

シートベルトで体を拘束するはたらきと併せて、運転者の頭や胸への衝撃をやわらげる装置です。



### 助手席SRSエアバッグ

シートベルトで体を拘束するはたらきと併せて、助手席同乗者の頭や胸への衝撃をやわらげる装置です。



## 警告

- シートベルトは必ず着用してください。SRSエアバッグはシートベルトと併用して効果が出る装置でシートベルトの代わりではありません。
- シートベルトを正しく着用してください。シートベルトを着用していないと、急ブレーキなどで放り出されると同時にSRSエアバッグが膨らんだ場合、強い衝撃を受け危険です。  
(正しい着用→ 50 ページ)
- シートを正しい位置に調整してください。シートを正しい位置に調整しないと、SRSエアバッグの効果を発揮させることができず、衝突したときなど重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 正しい姿勢でシートに座ってください。正しい姿勢で座らないとSRSエアバッグの効果を発揮させることができません。また、運転席SRSエアバッグはハンドルに近付きすぎると、SRSエアバッグが膨らんだときに重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ハンドル、インストルメントパネルは、絶対に取り外したり、分解しないでください。また、強い衝撃もあたえないでください。いざというときに作動しないおそれがあります。

\* Supplemental Restraint System (サプリメンタル レストレイント システム) の略で、乗員保護補助装置の意味です。

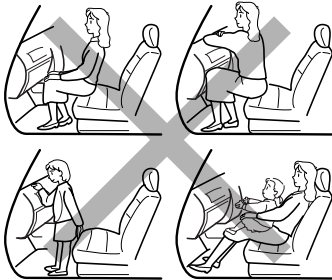




### ⚠警告

- SRSエアバッグは、絶対に改造や分解をしないでください。
- SRSエアバッグが膨らんだあとに、その構成部品に触れないでください。非常に熱くなっているのやけどをするおそれがあります。
- 助手席SRSエアバッグについては必ず下記の注意事項をお守りください。
  - ・ シートの前端に座ったり、インストルメントパネルにもたれかかったりしないでください。また、お子さまをインストルメントパネルの前に立たせたり、ひざの上に抱いたりしないでください。

助手席SRSエアバッグは瞬時に車室内に大きく膨らみますので、SRSエアバッグが膨らんだときの強い衝撃で重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



### ⚠警告

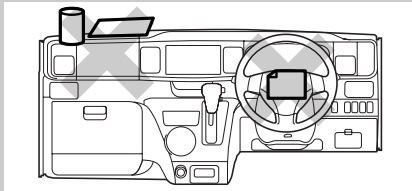
- お子さまはリヤシートに座らせて、必ずシートベルトを着用させてください。
- シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまは、チャイルドシートをリヤシートに装着して使用してください。
- 助手席にチャイルドシート（ベビーシート）を取り付けたり、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けしないでください。チャイルドシートの背面が、SRSエアバッグに近すぎるため、SRSエアバッグが膨らんだときの強い衝撃で重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。





### ⚠警告

- チャイルド シートの取り付け可否については、必ずチャイルド シートの適用条件をご確認ください。
- SRSエアバッグの展開部にステッカーを貼ったり、カバーを付けないでください。いざというときにパッド部が開かずSRSエアバッグが作動しないおそれがあります。
- インストルメント パネルの上にジュースや物を置かないでください。SRSエアバッグが膨らむときの衝撃でけがをするおそれがあります。



- ステアリング パッド、インストルメント パネルの上などSRSエアバッグ展開部は、強くたたくなど過度の力を加えないでください。  
SRSエアバッグが正常に作動しなくなるなどして、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

### ⚠警告

- SRSエアバッグの効力を十分に発揮させるため、下記の事項を必ず守ってください。
- サスペンションを改造しないでください。車高が変わったり、サスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
- 車両前部にグリル ガードなどを装着する場合は、最寄りのスバル販売店にご相談ください。
- 無線機の電波などは、SRSエアバッグを作動させるコンピューターに悪影響をあたえるおそれがありますので、無線機などを取り付けるときは、スバル販売店にご相談ください。
- SRSエアバッグは非常に速い速度で膨らむため、SRSエアバッグとの接触によりすり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。





## ⚠️注意

- SRSエアバッグが作動すると作動音とともに白い煙のようなガスが発生しますが、火災ではありません。このガスを吸うと、喘息などの呼吸器系を患った経緯のある方は、呼吸が苦しくなることがあります。  
この場合は、乗員が車外に出ても安全であることを確認して、車外に出てください。なお、車外に出ることができない場合は、窓やドアを開けて新鮮な空気を入れてください。  
また、SRSエアバッグ作動時の残留物（カスなど）が目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く水で洗い流してください。皮膚の弱い方は、まれに皮膚を刺激する場合があります。
- 衝突時などに助手席SRSエアバッグが膨らむことによって、車両のフロントウインドウ ガラスが破損することがあります。
- SRSエアバッグは一度作動すると再使用できません。必ずスバル販売店で交換してください。

## ⚠️注意

- 下記のような場合は必ずスバル販売店にご相談ください。  
お客様自身で行うと、SRSエアバッグが思いがけなく作動し、故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - ハンドルを取り外すとき
  - 車両前部を修理するとき
- 車やSRSエアバッグを廃棄するときは必ずスバル販売店にご相談ください。  
SRSエアバッグが思いがけず作動し、けがをするおそれがあります。
- SRSエアバッグが収納されているパッド部に傷が付いていたり、ひび割れがあるときは、そのまま使用せずスバル販売店で交換してください。衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せず、けがをするおそれがあります。



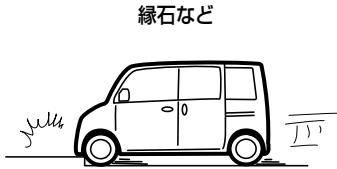


## 作動する場合

SRSエアバッグは車両前方からフロントバンパーに強い衝撃を受けたとき作動します。また、同時にプリテンショナー機構も作動します。

走行中に路面などから車両下部に強い衝撃を受けたときは、まれにSRSエアバッグが作動することがあります。

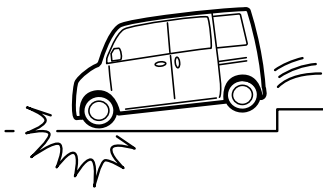
- 高速で縁石などに衝突したとき



- 深い穴や溝に落ち込んだとき



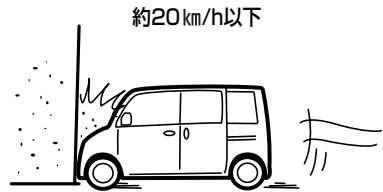
- ジャンプして地面に衝突したとき



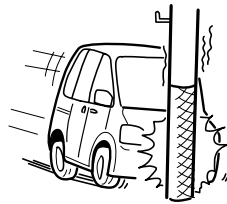
## 作動しない場合

下記のように前方からの衝撃が弱い場合や、衝撃が車体により十分吸収された場合など、車両の損傷が大きくても作動しないことがあります。

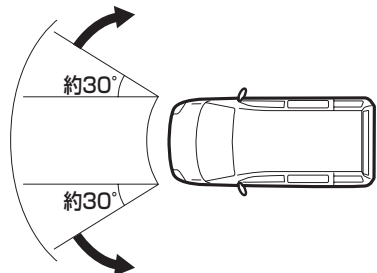
- コンクリートの壁に約 20km/h以下の速度で正面衝突したとき



- 電柱などポール状の物に正面衝突したとき

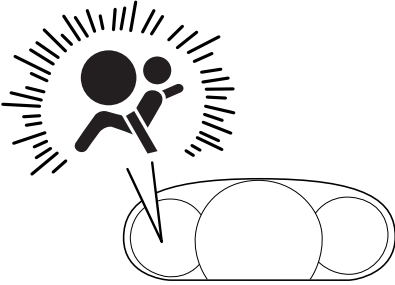


- 前方約 30°以上の角度でコンクリートの壁やガードレールなどに衝突したとき

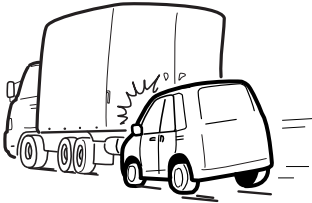




- SRSエアバッグ警告灯点灯時



- 大型トラックの後部荷台下にもぐり込んだとき

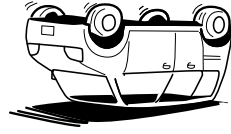


下記のようなときも作動しないことがあります  
り効果を発揮しません。

- 側面や後方から衝撃を受けたとき



- 車両が横転、転覆したとき



下記のようなときは、SRSエアバッグが  
作動しません。

- エンジン スイッチが“LOCK”、  
“ACC” の位置のときに衝突したとき





## SRSエアバッグ警告灯

メーター内に警告されます。



- エンジン スイッチを“ON”の位置にすると点灯し、数秒後に消灯します。
- エンジン スイッチが“ON”の位置で、下記のシステムに異常があると点灯します。
- ▼ 異常があると点灯するシステム
- SRSエアバッグ  
(SRSエアバッグ→ 57 ページ)
- プリテンショナー機構  
(プリテンショナー機構→ 54 ページ)

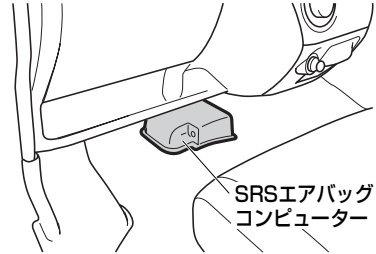
### ⚠注意

#### 点灯した場合

- 車両にできるだけショックをあたえずに走行し、ただちにスバル販売店で点検を受けてください。

## SRSエアバッグ コンピューター

SRSエアバッグを制御する装置です。



### ⚠注意

- SRSエアバッグ コンピューターは、絶対に取り外したり、分解しないでください。  
SRSエアバッグが誤って展開したり、いざというときに作動しないおそれがあります。
- SRSエアバッグ コンピューターには、水、ジュースなどをかけないように注意してください。  
万一こぼしたときは、ただちにふき取ってください。
- SRSエアバッグ コンピューターおよびその近くを強くたたいたり、蹴ったりしないでください。
- SRSエアバッグが一度作動すると再使用できません。スバル販売店で交換してください。



## ABS

### ABS\* (EBD & ブレーキ アシスト付)

#### ▼ ABS

急制動時や滑りやすい路面における制動時には、車輪がロックして方向安定性と操舵能力が低下することがあります。ABSは、このような状況下に発生する車輪ロックを防止して操舵能力を確保しようとする装置です。

#### ▼ EBD

Electronic Brake force Distribution (電子制動力配分) の略で、車両の走行状態や積載状態に応じて最適な制動力配分を行う機能です。積載時のブレーキの効きを確保することができます。

#### ▼ ブレーキ アシスト

下記の状態のときなどに、ブレーキペダルが強く踏めず、ブレーキ性能を十分に発揮できない場合に、運転者のペダル踏力を増加させ、制動力を確保する装置です。

- 緊急制動時の運転に不慣れな運転者が緊急制動するとき
- 緊急制動時にパニック状態に陥ったとき

### ⚠️注意

- ABSを過信しないでください。ABSが作動した状態でも車両の方向安定性や操舵性の確保には限界があり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 下記の場合などにはABSの付いていない車両に比べ、制動距離が長くなることがあります。事故につながるおそれがあります。速度を控えて十分に車間距離を取ってください。
  - ジャリ道、新雪路を走行しているとき
  - タイヤチェーンを装着しているとき
  - 道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき
  - 凹凸道などの悪路を走行しているとき
  - タイヤ空気圧が適正空気圧より高いときに荒れた路面を走行したとき

\*ABSは、Anti-lock Brake System (アンチロックブレーキシステム) の略です。



## アドバイス

- 低速（約 10km/h以下）では、ABSは作動せず、普通のブレーキと同じ作動になります。
- エンジン スイッチを“ON”の位置にすると、メーター内のABS警告灯が点灯し、数秒後に消灯します。
- エンジン始動後にABS警告灯が数秒間点灯しても、その後、消灯すれば異常ではありません。ただし、同じ現象が再度発生した場合は、スバル販売店で点検を受けてください。
- エンジン始動時や始動後の発進直後にエンジン ルームからモーターなどの音が聞こえることがあります。これは、システムの作動をチェックしているときの音で、異常ではありません。
- 走行中にABS警告灯が点灯した場合、通常のブレーキとしての性能は確保されていますが（ABSとしての作動はしません）、スバル販売店で点検を受けてください。
- ABSの作動中および作動後は、ブレーキ ペダルが奥に入り込むことがあります。また、ABSが正常に作動しているときは、ブレーキ ペダルを踏むとペダルがこきざみに動き「カタカタ」と作動音がすることがありますが、システムの異常ではありません。
- 雨の日にマンホールのふた、橋の継ぎ目などの滑りやすい場所でブレーキを踏むとABSが作動しやすくなります。
- 急ブレーキ時は、ブレーキ ペダルを強く踏み続けてください。ブレーキをゆるめるとABSが効果を発揮できません。

## アドバイス

- 急ブレーキ時にポンピング ブレーキ\*はしないでください。ポンピング ブレーキをすると制動距離が長くなります。

\* ブレーキ ペダルを数回に分けてこきざみに踏むブレーキのかけかた

